

# 高齢社会対策に資する 研究開発の推進について

---

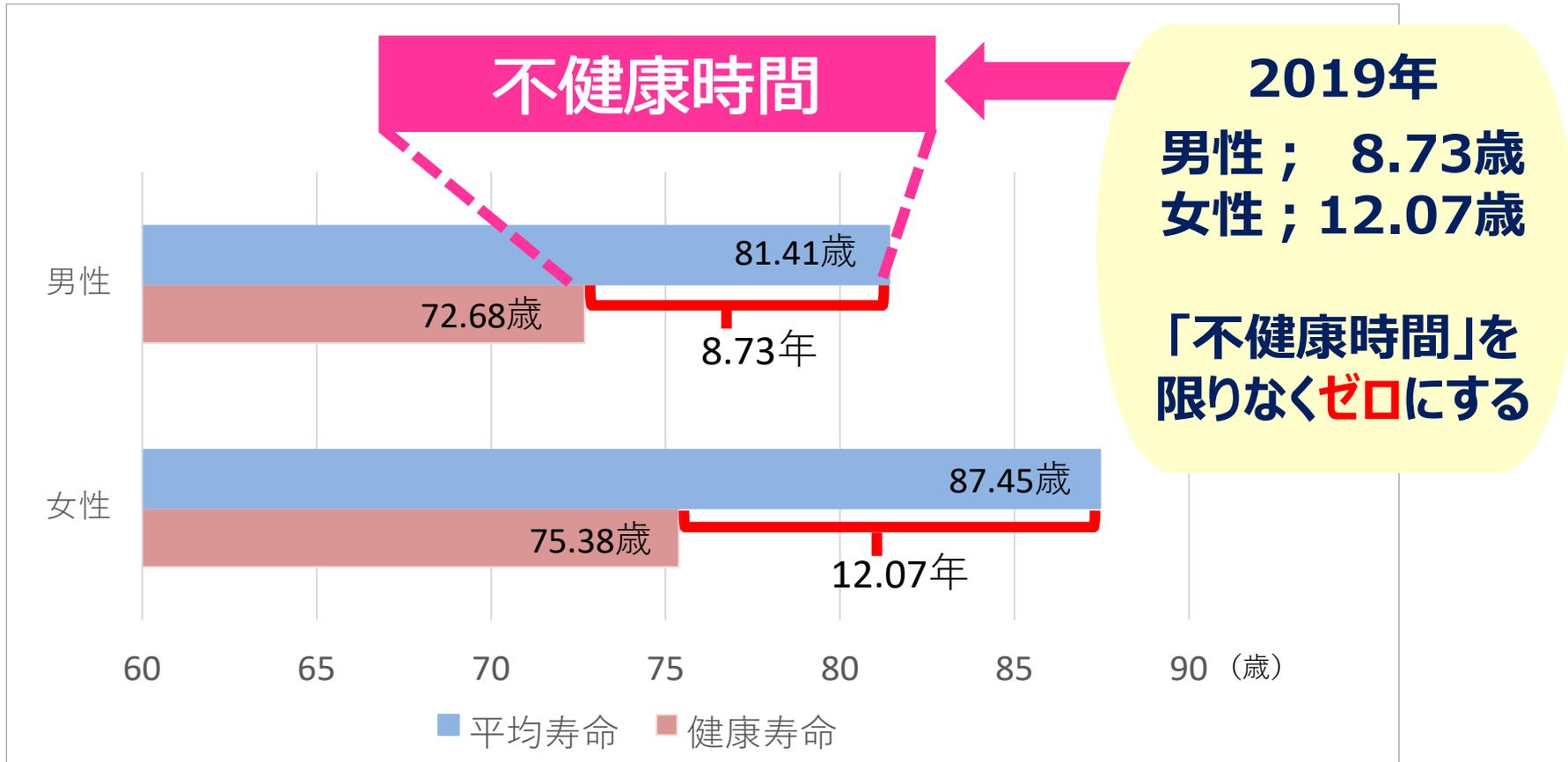


令和6年5月20日

内閣府 健康・医療戦略推進事務局

**1. ムーンショット目標7「2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現」**

## 不健康時間：平均寿命と健康寿命の差



出典：平均寿命は厚生労働省「令和2年簡易生命表」より、健康寿命は「令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」分担研究報告書「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」よりAMED作成。

**健康寿命とは、健康な状態で生存する期間、あるいは、その指標の総称（活動制限なし、自覚的健康、介護の必要なし、慢性疾患なし等）**

## 主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく 人生を楽しむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現 とは

- 日本人の平均寿命は確かに延びましたが、問題なのは健康寿命です。介護してもらう必要もなく、加齢にともなう慢性疾患などを抱えず健康でいられる「健康寿命」と平均寿命の差が、現在は約10年もあります。
- 「生活の質」に重点をおきながら病気を治す医療、不健康な状態にならない予防医学が重要になっています。
- 「100歳まで健康不安なく」というのは、言い換えれば平均寿命と健康寿命の差を限りなくゼロに近づけることです。
- 2040年に100歳まで健康で生きられる となったら、最初の人生とは全く違う 2回目の人生を送ることも可能となります。

### Target 1

#### 日常生活の中で 自然と予防ができる社会の実現

免疫システムや睡眠の制御等により健康を維持し疾患の発症・重症化を予防するための技術や、日常生活の場面で個人の心身状態を可視化・予測し、各人に最適な健康維持の行動を自発的に促すことで、心身共に健康を維持できる社会基盤を構築することができます。



### Target 2

#### 世界中のどこにいても 必要な医療にアクセスできる メディカルネットワークの実現

簡便な検査や治療を家庭等で行うための診断・治療機器や、一部の慢性疾患の診断・治療フリー技術等で、地域に関わらず、また災害時や緊急時でも平時と同等の医療を受けることができます。



### Target 3

#### 負荷を感じずに QoLの劇的な改善を実現 (健康格差をなくすインクルージョン社会の実現)

負荷を感じないリハビリ等で身体機能を回復させる技術、不調となって生体制御システムを正常化する技術、機能が衰えた臓器を再生・代替する技術等を開発することで、介護に依存せず在宅で自律的な生活ができます。



## 加齢に伴う疾患には慢性炎症がベースにある

### 引き金



### 慢性炎症

#### 自己免疫病

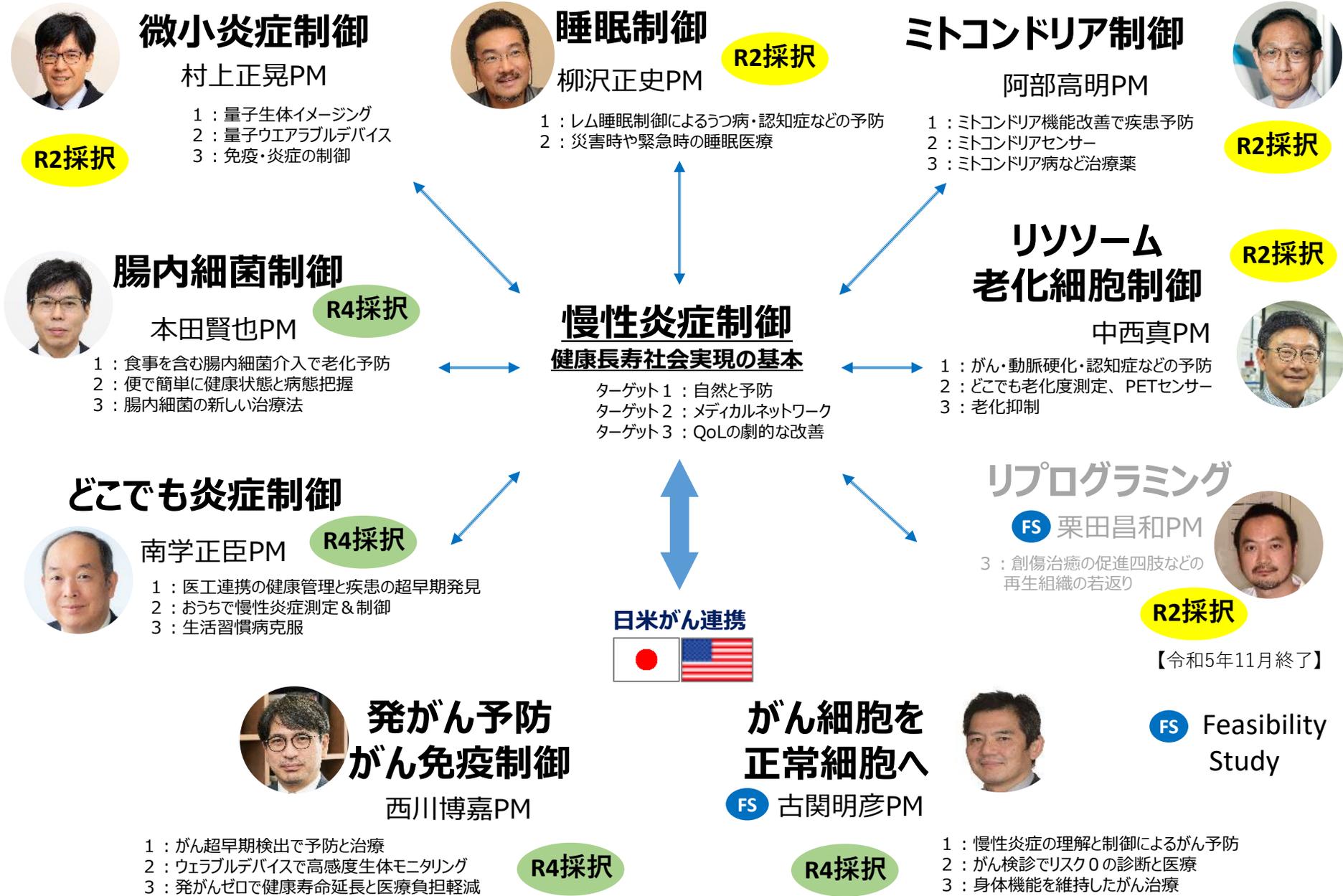
関節リウマチ  
エリテマトーデス  
甲状腺炎  
1型糖尿病  
多発性硬化症  
など

#### 炎症性疾患

アルツハイマー  
2型糖尿病  
肝炎  
心臓血管疾患  
動脈硬化症  
腎炎 など

#### がん

肺がん  
肝臓がん  
胃がん  
大腸がん  
膵臓がん  
乳がん  
前立腺がん など



新しい資本主義実行計画及び骨太方針に記載された認知症への取組を実現するため「認知症・脳神経疾患研究開発イニシアティブ」の一つとして、「**認知症克服への挑戦**」をテーマに、**従来と全く異なる新しいアプローチの研究開発**を行うプロジェクトマネージャー(PM)を募集する。目標7のキーワードである「慢性炎症」と共に、認知症に対して「再生」「根治」「予防」の、いずれかまたは複数の観点が含まれる、革新的な研究開発が提案されることを期待している。

公募期間：	2024年3月1日(金)～4月22日(月)正午
書面審査：	2024年4月下旬～6月中旬(予定)
ヒアリング審査：	2024年7月上旬～中旬(予定)
採択者通知：	2024年8月下旬(予定)
研究開始：	2024年10月1日(火)(予定)

第4回公募を審査する事前評価委員には、認知症・脳神経疾患の専門家2名に加わっていただくと共に、ELSI、規制科学分野を始め、評価体制の強化として、新たに5名の評価委員を委嘱し、評価体制を強化する。

## **2. 令和6年度予算における 主な疾患領域に関連した研究開発の概要**

# 疾患領域に関連した研究開発(がん)

日本医療研究開発機構対象経費  
令和6年度予算額163億円の内数

- がんの生物学的本態解明に迫る研究開発や、患者のがんゲノム情報等の臨床データに基づいた研究開発
- 個別化治療に資する診断薬・治療薬の開発や免疫療法や遺伝子治療をはじめとする新しい治療法の開発 等

フェーズ

基礎研究

応用研究

非臨床

臨床研究・治験

実用化

■ 文科省、■ 厚労省、■ 経産省、■ 総務省

## ● 次世代がん医療加速化研究事業 予算額35億円

次世代がん医療の創生に向けて出口を意識した国際的にも質の高い基礎的研究の支援、着実に企業や他事業への導出を進めるとともに、がんの本質の更なる追究に努め、臨床現場を大きく変革するような、新たな医薬品等の早期社会実装

基礎研究  
成果の導出

臨床課題の  
フィードバック

## ● 革新的がん医療実用化研究事業 総額: 予算額89億円

個別化治療に資する診断薬・治療薬の開発や免疫療法をはじめとする新しい治療開発を推進

医薬品:  
予算額22億円

医療機器:  
予算額2億円

がんの早期発見、低侵襲治療等のための医療機器開発等

免疫細胞療法、遺伝子治療薬等や、がんゲノム医療、個別化医療等に関する研究

再生・細胞・遺伝子治療:  
予算額13億円

難治性のがんの早期発見を可能とする技術、より低侵襲治療を可能とする根治性の高い治療等の患者にやさしい医療技術、データ基盤に関わる研究。がん患者のより良い医療の推進のため、全ゲノム解析等実行計画に基づき、臨床実装を見据え、がんの再発分野等の課題を明確に設定した上で全ゲノム解析を推進

ゲノム・データ基盤:  
予算額43億円

患者背景因子、遺伝子異常プロファイル等の情報に基づいた本態解明

疾患基礎研究:  
予算額9億円

連携・協力

## ● 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強化事業

先進的な医療機器・システム等の開発、基盤技術の開発等を支援

予算37億円の内数

## ● 医療・介護・健康データ利活用基盤高度化事業 (高度遠隔医療ネットワーク実用化研究事業)

高精細映像データ通信機能への対応、複数コンソールの遠隔手術における実証、アノテーション機能の検証、5G等多様な通信環境での技術要件の検討・実証、ガイドライン化のための総合評価

予算額3億円

(※)これら以外に疾患横断的な事業にて公募の結果、個別の疾患研究を行う可能性がある

実用化(市販・医療現場への普及等)

# 疾患領域に関連した研究開発(老年医学・認知症)

日本医療研究開発機構対象経費  
令和6年度予算額82億円の内数

- モデル生物を用いた認知症等の神経変性疾患のメカニズム解明
- 認知症に関する薬剤治験対応コホート構築やゲノム情報等の集積及びこれらを活用したバイオマーカー研究や病態解明
- 認知症に関する非薬物療法の確立及び官民連携による認知症予防・進行抑制の基盤整備 等

フェーズ

基礎研究

応用研究

非臨床

臨床研究・治験

実用化

■ 文科省、■ 厚労省、■ 経産省

予算額65億円の内数

## ● 脳神経科学統合プログラム

革新技術・研究基盤を発展させ、脳のメカニズム解明等を進めるとともに、脳神経疾患・精神疾患の画期的な診断・治療・創薬等シーズの研究開発を推進する。

(前プログラムからの継続事業(令和6年度まで))

### 精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト

脳機能や疾患メカニズムの解明のための研究開発を加速

### 領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト

領域横断的な脳科学研究とイノベーション創出に向けた萌芽的な研究開発を推進

連携・協力

## ● 認知症研究開発事業

総額: 予算額13億円

認知症コホート・レジストリ研究及びゲノム研究等の推進

ゲノム・データ基盤:  
予算額9億円

認知症の早期発見、層別化、病態解明等を目指した研究の推進

疾患基礎研究:  
予算額2億円

創薬の推進

医薬品  
予算額2億円

## ● 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業

予算額2億円

認知症をめぐる共生・予防、および早期検知に係るエビデンス構築の支援

## ● 長寿科学研究開発事業

予算額2億円

高齢者の医療・介護を支援する基盤整備の推進

実用化(市販・医療現場への普及等)

(※)これら以外に疾患横断的な事業にて公募の結果、個別の疾患研究を行う可能性がある